

坂越中学校

学校だより

潮流

6 月 号

2009, 6. 1

梅雨もいいものだ！

6月に入ると「梅雨」の時期を迎えます。近畿地方の梅雨入りは平均して6月8日頃だそうです。

梅雨は、春から夏へ季節が移り変わるとき、日本、中国、韓国など東アジアの地域だけにみられる雨の季節のことです。

気象学的には「オホーツク海気団（高気圧）：冷たく湿っている」と太平洋の「小笠原気団（高気圧）：温かく湿っている」との、せめぎあいのできた「梅雨前線」（湿った気団がぶつかり、より雨が降る）が日本の南岸に停滞し始める時です。

梅雨に入ると、登下校時に靴やズボン、スカートが濡れて大変です。また、外で遊ぶことも出来ません。雨が降り続くと、何かしら気持ちがめいります。晴れの日には「良い天気だ」と言ったり、雨の日には「天気が悪い」と言ったり、どうも、雨は嫌われているみたいです。

そこで、「雨」について考えてみたいと思います。

雨が降った時、グラウンドの木々を見ると、どの木もしっとりと濡れています。その木々を見て、「雨に濡れているな」と単純にそれだけ思う人もいます。しかし、じっと見てみると「雨に濡れた木はみずみずしく美しい」と感じる人もいます。

みなさんはどちらですか。

私は、しとしと降る雨は何かしら心を落ち着かせてくれるので好きなんです。子どもの頃、外に遊びに出れなくて、家の中で遊んでいたとき、隣に母が手仕事をしながらいたため、ゆっくりした時間が流れ、その時間を楽しんだことを思い出します。

すきっと晴れ渡った爽やかな日ももちろん好きですが、しとしと降る雨も趣があって良いものです。雨の中に静かに咲いている紫陽花の花、思いっきり角を伸ばし進むカタツムリ、雨を喜んでいる雨蛙など、心を和やかにしてくれます。

また、田植えが終わると、その労をねぎらってごちそうを味わう「足洗い」をするのもこの時季です。

日本には、四季折々の美しい自然と生活様式があります。

例えば、春は桜、夏は蛍、花火、秋は紅葉、月見、冬は雪などが代表されます。そのため日本人は風情を楽しむ豊かな国民と言われています。

そこで、梅雨の雨に濡れる自然を自分の目でしっかり見て、よさを確かめ、これから訪れる夏・秋・冬など四季折々のうつろいを素直に感じる感覚を改めて持って欲しいです。

美しいものは美しいと思える人に！

頑張れよ！、坂中生

学校長 山 根 英 樹



行事予定

- 1 (月) 教育実習受入(～12日)・生徒集会
- 2 (火) 生徒総会・PTA委員総会
- 3 (水) 耳鼻科検診
- 4 (木) 歯科検診
- 5 (金) 内科検診・六校園所PTA連絡会
- 6 (土) 赤穂市福祉のつどい
- 8 (月) 風の子学級開級式
生徒集会・教育相談週間(～12日)
- 9 (火) 赤穂特別支援学校との交流学習会
- 10 (水) 市民体育祭野球決勝
- 11 (木) 麦の穂学級開級式
- 12 (金) 英語検定・PTA広報部会
- 13 (土) 中学生海外派遣事業1次審査会
- 15 (月) 生徒集会
- 16 (火) いきいき応援事業(2-1)
特別支援学級合同学習会
- 18 (木) 参観日・学級懇談会
いきいき応援事業(2-2)
よい歯のコンクール
- 19 (金) ノーチャイム35周年記念集会
- 20 (土) ソフトテニス学校対抗戦
- 21 (日) 席書大会(坂小にて)
相生市少年親善剣道大会
県中学校春季水泳記録会
- 22 (月) 生徒集会
- 23 (火) 中学生海外派遣事業2次審査会
- 24 (水) 期末考査(～26日)
- 29 (月) 生徒集会
- 30 (火) 輪越巡回補導

PTA委員総会(7/1) 市総体(7/4・5)
個別懇談会(7/9・13・14・15) 終業式(7/17)



笑顔輝く南の島

修学旅行★5／7・8・9 IN 沖縄



沖縄で初めて行った場所が首里城だったので、守礼門を見るだけでテンションが上がってしまいました。門をくぐって、階段や坂を上っていくと首里城の本殿に着いて、それを見た時は本当に驚きました。国語の授業中に教科書で見たのとはまた違って、きれいな赤瓦には迫力もあり、本当に驚きました。もう一度みたいと思いました。

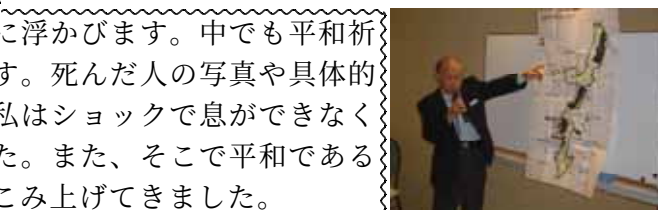


ひめゆりの塔は木や花がいっぱいで、「きれい！」と友だちと騒いでいましたが、資料館に入ってからは何も言えなくなりました。今はもうおばあちゃんになったひめゆりの生存者の生々しい話。一人一人の顔写真の下に書かれた生前の性格と死んだ時の様子。「敗戦に絶望し、手榴弾にて自決」「米兵に殺せと詰め寄り眉間を打たれて即死」怖くて全部見きれませんでした。私と年の変わらない女の女の子たちが、「お国のために」と戦場にかり出され、死んでいった……。美しい沖縄にも昔は痛ましいことがあったことを一生忘れてはいけないと思います。

沖縄の町並みを見ると、やっぱりなんか違うと感じました。最初は首里城で、まず感じたのは赤が多い！それに対して海はとても青かった！青いというか、青緑？水色？いろんな色がきれいに輝いていました。まさに南国!!そう感じる事ができました。一番よかったのはマリンスポーツでした。海にはナマコがとても多かったです。バナナボートが楽しくて、沖縄一周したいくらいでした。シュノーケリングも海底まで水が透けていて、すごかったです。インストラクターの人もいい人たちで、とてもいい思い出になりました。もう沖縄にそのままたかったです。将来お金を貯めて、沖縄へもう一度行きたいです。



1日目にいろんな沖縄戦の話を聞かせてもらいましたが、どれもこれもが心に突きささり、今も言葉の一つ一つが頭の中に浮かびます。中でも平和祈念資料館はつらかったです。死んだ人の写真や具体的なものがたくさんあり、私はショックで息ができなくなり、泣いてしまいました。また、そこで平和であることの喜びやうれしさがこみ上げてきました。



沖縄は寒がりのお母さんを将来住まわせるのによいと思いました、ぜひまた、行ってみたいと思います。

新型インフルエンザを心配しながら・・・

連休明け、しかも新型インフルエンザ発生と心配はいろいろありましたが、県・市からの行事等の自粛の通達前に無事修学旅行を終えることができました。

天候もさわやかな快晴！沖縄の歴史・文化・自然を満喫してきました。南国の太陽の下で、笑顔も一段と輝きました。このマスク姿も思い出の一つかな。



写真で見て「キレイやな～」と思っていたけれど、いざビーチにきてみると、エメラルドグリーンの海とはこのことをいうんだと思うぐらいきれいで、坂越の海なんか比べものにならないくらいで、本当にビックリしました。シュノーケルでは、海の中のいろんなきれいな魚も見れて、とても楽しかったです。

